そげっぱ通信

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

4月

曽慶市民センター
曽慶字神蔭32-1
☎　0191-75-2244
FAX 0191-34-6630
Email: info@yuinet-sogei.com

令和8年度がスタート！指定管理も5年目に突入しました。

自治会や芸能団体と実行委員会を組織して実施した第37回曽慶地区芸能祭は大盛り上がり

適正な施設管理と事業推進に努めていきます

曽慶市民センター等が令和4年度に「結いネットそげい」による指定管理に移行し、令和8年度が協定書で定める指定管理期間（5年）の最終年度になりました。曽慶地区センターは建築から32年が経過し、老朽化も徐々に進んできたことから市と連携しながらさらなる適正管理に務めます。また、市民センター事業としても新たな参加者の掘り起こしに努めるとともに、地域の皆さまの学びと健康づくり、仲間づくりのお役に立てるよう進めていきたいと思います。

シニア世代交流の場づくりにも取り組みます

「結いネットそげい」については、平成26年8月の設立から12年を経過しようとしています。設立当初からみると人口減少と高齢化がさらに進んでおり、これまで5つのチームで地域課題解決のために活動していただいていましたが、活動が困難になってきているチームもあり、ご意見をいただきながら見直しを進めているところです。

今年度新たに市の「シニア世代交流の場づくり支援事業」が創設され、結いネットそげいとしても積極的に取り組んでいきたいと思いますので、募集を開始しましたら、多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

お世話になります。

今年度における曽慶郵便局と曽慶保育園の皆さんの顔ぶれです。曽慶市民センターともどもよろしくお願いいたします。

曽慶保育園

令和８年度の職員です。藤代芳枝園長、水戸祐子先生、和賀浩子先生に代わり、佐藤美雪先生が園長に、千葉美砂子園長補佐(大原保育園より)と千葉文子先生(川崎こども園より)が着任されました。よろしくお願いします。

（後列右より）吉家隆子先生、永沢千春先生、千葉文子先生、菅原美里先生、（前列右より）千葉美砂子園長補佐、佐藤美雪園長、小山美砂子先生

曽慶郵便局

４月より加藤慶一郵便局長が着任し、新体制になりました。地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。鈴木宏美課長代理ともどもよろしくお願いたします。

北海道の「曽慶」さんからの寄付金で和室用の椅子を24脚購入いたしました。畳での立ち座りが困難な方が増えてきている中、肘掛け付き椅子の導入により、使いやすくなりました。玄関から近いこともあり、これまで少なかった和室の利用も増えていくことが期待されます。

「地域のためにお使いください」と令和6年、7年と2年続けて曽慶さんからご寄付頂きましたが、今後もより地域の皆さんのお役に立てるよう使途を考えていきたいと思います。

座敷用の椅子を購入しました

PR看板をリニューアル

リニューアルされた結いネットそげいのＰＲ看板

結いネットそげいで設置しているＰＲ看板で、神蔭地内の看板が色あせてきていました。このほど、スガワラ看板さんが丁寧な作業で再塗装をしていただき、設置当時の鮮やかな色彩が蘇りました。これは曽慶地域に3基建っているＰＲ看板のうち一番古い看板で、設置された平成27年12月から10年以上が経過したもので、市民センター前のシンボル的な看板です。

看板に書いてある「心も景色も美しく　住み続けたい私たちの曽慶」は、第Ⅰ期地域づくり計画で掲げた曽慶地域の将来像です。この実現に向けて話し合いを重ねながら、みんなで取り組んでいければと思います。

大東高校だより 《12》 節目の年へ、新年度の第一歩とともに

創立１００周年に向け 令和８年度がスタート

創立１００周年記念式典を１０月に予定する大東高校の令和８年度がスタートしました。

４月７日、校長着任式・新任式・始業式が行われ、着任式および新任式では校長先生と２名の先生方が紹介されました。始業式では、校長先生から、主体的に学校生活を送ることや仲間を大切にすること等についてのお話があり、２・３年生は目標と決意を新たにしました。

４月８日には入学式が挙行され、１４名の新入生が入学しました。新入生は期待と不安が入り交じる中、緊張した面持ちで式に臨みました。

式では音楽部が校歌を紹介したほか、鹿踊部が演舞を披露し、入学を祝福しました。９日の対面式・部紹介では、先輩たちが学校行事や部活動の魅力を伝え、新入生は学校生活への期待を高めました。

対面式では先輩たちが学校行事や部活動の魅力を伝えました

14名が入学した入学式

4月7日に行われた始業式

音楽喫茶「結」 MusicCafe Yui

5月の「音楽喫茶・結」はスペシャル企画として、ジャズギタリストの杉本篤彦さんによるソロ·ギター・ライブを開催します。杉本さんのギターはジャズという枠にとらわれずに、歌うようなフレーズとあふれるダイナミズムで聞く人の心に響きます。定員に限りがありますので、ぜひお早めにお申し込みください。

◆日時：令和8年5月23日(土)午後2時〜
◆会場：曽慶地区センター　研修室
◆定員：１５名
◆参加費：2,000円（コーヒー、菓子付き）
◆参加申し込み：曽慶市民センターまで電話、FAX、メールでお申し込みください
TEL:0191-75-2244　FAX:0191-34-6630
メール:info@yuinet-sogei.com

《5月の行事予定》

5月 8日(金) 結いネットそげい執行部会議
5月12日(火) 結いネットそげい理事会
5月19日(火) 結いネットそげい総会
5月23日(土) 音楽喫茶「結」スペシャル企画
5月25日(月) 行政区長会議
5月26日(火) 市民センター所長会議

お知らせ

シニア世代交流の場づくり支援事業スタート

このほど一関市では、シニア世代の交流の場づくりに取り組む地域協働体や自治会が実施する事業に対し、その経費を補助する制度を創設し募集を開始しました。補助の対象は、概ね６０歳以上のシニア世代を対象とした交流の場づくりを行う事業（例：カラオケ、麻雀、ニュースポーツなど）です。申請書の様式等は市民センターにありますので、ご希望の自治会等はお問い合わせください。

◆条件
・参加料が無料または実費相当
・概ね月１回以上の実施、１年以上継続見込み
・営利活動、特定の宗教・政治活動は対象外

◆補助金の対象
・必要物品（食料品を除く）の購入・借り入れなどの経費
・地域協働体　上限２０万円
　自治会　　　上限５万円
※ 補助率はいずれも１０分の１０です。

◎結いネットそげいでもシニア世代交流の場づくり支援事業に取り組むこととしました。概要は下記のとおりですが、実施日等の詳細は5月にお知らせいたします。

① **スポーツ吹矢で仲間づくり事業**
健康づくりにもいいとされるスポーツウエルネス吹矢の練習と競技を楽しみます。

② **カラオケで仲間づくり事業**
冷暖房完備の部屋でカラオケを楽しみます。

農機バンク

＊農業機械“など”
ほしい人といらない人の情報交換コーナー＊

《売りたい》

◎溶接機(マイト工業) ◎金網製トレー(120×60×3㎝) ◎ハロー(クボタ/HMT2010BKA/2M/24馬力に使用) ◎ハーベスター(クボタ) ◎エンジンポンプ(カトウポンプ) ◎種蒔き機(大豆・とうもろこし用) ◎井戸ポンプ(テラダポンプ) ◎管理機 ◎芝刈り機(ナショナル) チェンソー(ヤンマー) ◎溝切機 ◎発電機(エアーマン)◎エンジン除草機 ◎バインダー(ヤンマー)◎ディーゼルエンジン(ヤンマー)◎スプレー・はさみ・熊手セット ◎丸ヤスリセット ◎ビニールパッカー ◎草刈機工具 ◎ツールボックス ◎運搬車(ヤンマー乗用)

《買いたい》

①小型トラクター　**※写真入りの最新情報は市民センターで閲覧できます。**

※ 金額は当事者同士で決めていただきますが、別途点検・整備代等がかかります(実費相当)

曽慶歳時記

「左官・桶職人の道具」150点を一堂に展示

　曽慶のお宝伝承プロジェクト主催による「匠たちの道具」第３弾となる「左官・桶職人の道具展」が曽慶地区センターロビーで開催されています。
　中でも左官職人の道具として最も重要な道具である鏝（こて）は大小、形もさまざまな６０種類以上を展示。また桶職人の道具として特徴的な銑（せん）や鉋（かんな）は削る木材の曲面や形に合わせて工夫を凝らしたもので、当時の職人さんの創意工夫を感じられます。
　この展示は８月ごろまで公開する予定で、センター開館中はいつでもご覧いただけます。

桶屋用銑（せん）両手で持って木を削り桶の曲面を切り出す道具です。

左官職人の道具で大小さまざまな鏝（こて）６０点以上を展示　←↓

桶職人の道具の数々　銑以外にもさまざまな鉋(かんな)や鉈(なた)などが展示されています

曽慶の人口と世帯数

令和8年4月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	36	26	62
2区	68	85	85	170
3区	49	59	68	127
4区	48	65	71	136
5区	64	76	73	149
6区	41	56	57	113
7区	33	41	41	82
13区	33	42	37	79
こはぎ荘	50	21	29	50
合計	414	481	487	968
前月比	2	Δ3	0	Δ3

曽慶百景

旧勝田医院

　曽慶字大杉にある勝田さんのお宅は、仙台で洋医学、内科、外科、産科を修めた勝田元英氏がこの地に居を定め、明治6年に寺子屋を開塾、その後に勝田医院を開業して地域住民の医療に当たりました。また息子の文英氏は明治29年に同院で開業しました。明治38年には日露戦争で軍医として従軍し、その功績が認められて叙勲を受けました。産科・婦人科の名医としても名高く、遠方からも診察に訪れたそうです。
　現在のお宅の西側に受付窓口や診察室があったということで、その名残も感じられます。